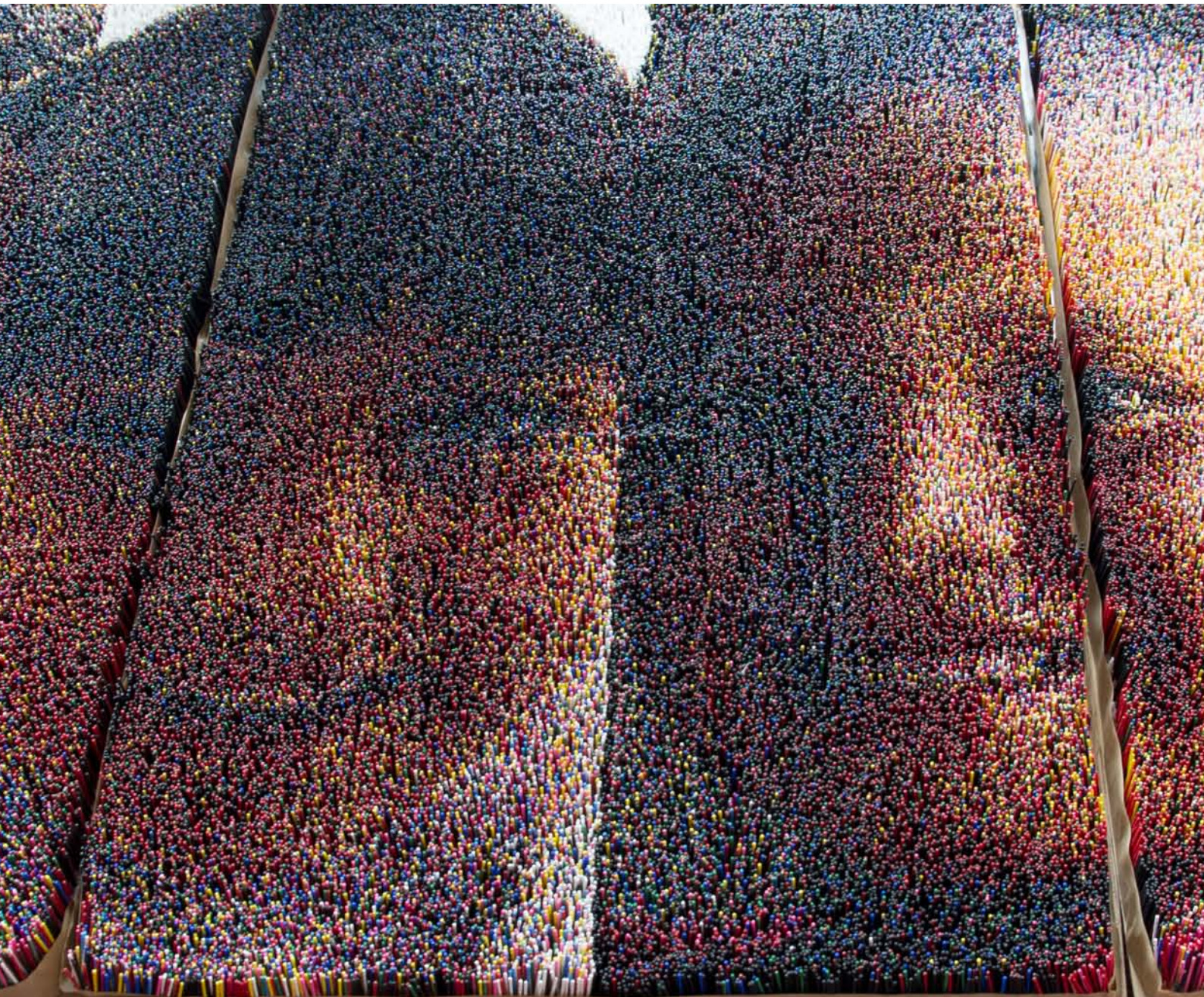


Wish

ユニセフ兵庫ニュース

vol. 40
2013年5月号



ユニセフのポスターを題材にしたつまようじアート。
神戸常磐女子高等学校制作

CONTENTS

2-3 よくわかる
子どもの
権利条約講座

4-5 イベントレポート
第11回
ユニセフのつどい

6-7 活動ファイル
8 お知らせ

よくわかる

子どもの権利条約講座

いま、子どもの権利は守られていないか

講師紹介

浜田 進士さん

(子どもの人権ファシリテーター)
国連NGO子どもの権利条約総合研究所研究員
自立支援の家「あらん」法人 幹事・理事



世界には戦争に巻き込まれたり、防げる病気で命を失ってしまったりしている子どもがいます。
日本でもいじめられてつらい思いをしている子どもがいます。
「子どもの権利条約」を理解していただくことで、
たくさん子どもたちが救われ、
豊かな生活を取り戻すことができます。
その道の人権ファシリテーターである浜田先生に伺いました。

日時 4月27日(土) 10:30~16:00
場所 コープこうべ生活文化センター
参加者 32人

これぐらいは知っておこう 子どもの権利条約のキホン

世界中の子どもたちすべてがもっている権利について定めた条約です。

子どもの権利条約 4つの柱

- 生きる権利
健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、健やかに成長する権利
- 育つ権利
教育を受け、また、休んだり遊んだりできること。考えや信じることの自由が守られ、自分らしく育つことができる権利
- 守られる権利
あらゆる種類の差別や虐待、搾取から守られる権利
紛争下の子ども、障害をもつ子ども、少数民族の子どもなどは特別に守られる権利
- 参加する権利
自由に意見を表したり、集まってグループを作ったり、自由な活動をおこなったりできる。そのときには家族や地域社会の一員としてルールを守って行動する義務がある

■権利条約成立まで

- 1948年 「世界人権宣言」が採択
- 1959年 「児童の権利宣言」が採択
- 1978年 「子どもの権利条約」の草案がポーランド政府から提出
- 1979年 国連人権委員会の中に「子どもの権利条約」作業部会設置
- 1989年 「子どもの権利条約」の最終案が採択
- 1990年 11月20日に国際条約として発効
- 1994年 日本が批准
- 2002年 「子どもの売買、子どもの買春及び子どものポルノに関する選択議定書」、「武力紛争への子ども関与に関する選択議定書」が採択
- 2012年 現在世界193カ国が批准

<日本ユニセフ協会 ホームページより>

Q 子どもとは、どういう存在でしょうか。

子どもの権利条約が示す子ども観というのは、子どもにはチカラがあるということとを大事にしています。存在するだけでチカラがある。つながりのなかでチカラは発揮されるということです。私が出会ったバングラデシュのストリートチルドレンは、どんな路上に住んでいても誰かと繋がるうとします。傷ついた子どもの方が跳ね返すチカラがあります。そういう這い上がるうとするチカラ、誰かを受け入れようとするチカラがあります。彼らがチカラを発揮するためには何が必要でしょうか

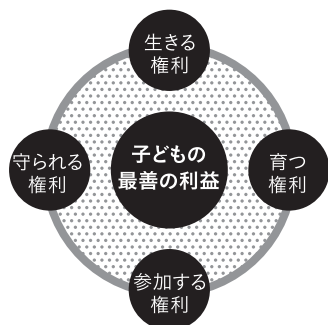
Q 国際法「子どもの権利条約」って、何でしょうか。

子どもたちが生まれながらにして持っている権利を守るには、国際レベルでの法律が必要だったわけです。1979年ポーランド政府から「子どもの権利条約」の草案が提出されました。10年間の話し合いを重ね、1989年に批准され、世界で最も多くの国が認め、守ることを約束している条約ができました。子どもの権利条約の理念は、子どもの最善の利益を考えること、差別の禁止(住んでいる地域や性別などによって差別さ

Q 子どもの権利を守るために大事なことは何でしょうか。

子どもは、最も人権侵害を受けやすい弱い存在です。だから、子どもたちを守るための支援の条件は、安心できる居場所があること、付き添ってくれる大人がいること、すべての子どもに権利を保障するシステムがあることです。この支援のシステムが「法律」として成立して、初めて効力を発するのです。日本でも、「児童虐待防止法」ができ、通報制度ができました。そこで初めて、大人の支援策が具体化されたこととなります。

私が最も反省していることは、ストリートチルドレンや開発途上国の女の子の問題です。そして、今最も気にかかることが日本のいじめの問題です。大人たちが調査もせずに体罰は無いと言ったことも、子どもたちから話を聞けば、そこには問題があったことがわかったはずなんです。子どもたちはちゃんと訴えていたのですから。だか



■4つ権利がそろって子どもの権利は守られる



ら、大人はもっと子どもたちの意見を「聞く」ことを大切にすることが大切です。私が一番言いたかったことは、『子どもの最善の利益』を考えるということです。大人は、その子を4つの権利の中心に置き、意見を聴き、何が最も大切かを考え、話し合うことです。そして、その子の侵害されていたすべての権利が回復されたとき、権利が守られたこととなります。



演劇は、大人には触れてもらえない思いが言葉と共に胸に刺さった(高校生)。演劇を見て、今の私に出来ることはあの日を決して忘れないこと。今後、私に出来ることをもっとやりたい。現地にも行きたいです。(大学生)次代を担う若者の参加が多く、特に高校生の皆さんのしっかりした考え方、話し方に感動しました。(50歳代)

Focus

上映&トーク「福島 私たちが伝えたいこと」

重荷を未来に背負っていかなければならない
私たちの話を聞いてください

福島県南相馬市から、相馬高等学校放送局の但野仁美さんと鈴木ひかるさん、顧問の渡部義弘先生を迎え、震災3部作の上映が行われました。同校は福島第1原子力発電所から45キロメートル、緊急時避難準備区域30キロ圏内から少し離れています。

生徒たちは、「思い出すことも言うこともつらい。けれど、伝えなければ伝わらない『今』」を自主制作しました。この作品は全国各地で上演、上映され、高校生たちの素直な気持ちと率直な表現は大きな反響を呼びました。

福島の高校生が置かれている現実を訴えました。今も、これからも原発の被害の中で暮らしていく、その重荷を未来に背負っていかなければならない子どもたちの声です。

渡部先生は、「大人の責任を痛感しています。この上演を通して、生徒たちは大人の人に感謝の気持ちを言えるようになりました。それが、私がこの活動を続けていける原動力になっています」と話しました。

上映作品(震災3部作)

ラジオドキュメント
I 緊急時避難準備不要区域より
2011年6月制作
原発から31kmの地域に住む自分の思いを、母や祖母の声とともにまとめた作品

演劇DVD
II 今 伝えたいこと(仮)
部員たちが震災後の経験や思いを語り合って作った舞台作品。物語の舞台は震災1年後。「今」の自分たちの思いをストレートに語りかけるもので、今も放射能の不安を抱えながら生きている高校生の心境をありのまま描いた作品

テレビドキュメント
III Girl's Life in Soma
2012年6月制作
放送局部員たちの今を映した作品

福島在住のルワンダ人マリールイズさんは、「本当に子どもの未来をみていますか?子どもたちの未来のために一歩でも前に進みましょう」と、会場に語りかけました。

劇の上映とトークが行われました。
フィナーレは東日本大震災で被災された人々と福島復興を願う「しあわせ運べるように」のリズムに乗って、よさこいを踊り笑顔が広がりました。
世界の子どものために、福島の子どものために、私たちに出来ることを考えてほしいです。



会場には高校生やたくさんの方々が参加し、総勢260人のパワーがはじけるつどいとなりました。オープニングは兵庫県ユニセフ協会10周年記念アフリカツアーの報告がありました。
午前の部は、国際協力や東日本大震災を支援する団体のブースで、製品の販売、活動紹介、カフェ、そして、新しくスタンプリリー「見て、聞いて、体験する」も加わり、楽しいひとときになりました。
午後の部は、神戸大学附属中等教育学校住吉校舎コーラス部の合唱、続いて募金贈呈式がありました。そのあと、福島県立相馬高等学校放送局の演劇の上映とトークが行われました。

- 1 美しいコーラス部の歌声がひびいた会場
- 2 焔爽JAPANとユニセフによるよさこい「しあわせ運べるように」
- 3 若者たち大集合
- 4 よさこいのリズムに盛り上がる会場
- 5 カンボジアの女性被害者自立支援グループCHAのブース
- 6 中東の平和を訴えながら自転車で走る世界から集まった女性のグループFollow the Womenのブース
- 7 CHA(カンボジアNGO)、NPO法人ルワンダの教育を考える会、ガーナ支援交流協会の各ブース
- 8 東日本支援活動を報告する西脇工業高等学校のブース
- 9 大人気のバルーン・アート。笑顔が広がる兵庫県子ども会連合会のブース
- 10 37万本のつまようじで制作した描画を説明する神戸常盤女子高等学校の生徒たち
- 11 福島の子どもたちを支援している京都ももやまの子どもの夢実行委員会のブース
- 12 司会者の高岡博明さん
- 13 みんなで遊ぼう・手作りコーナー。牛乳パックを使ったコマ作りを体験
- 14 世界の子どもたちへの思いを込めてみんなで寄せ書き



Event Report
イベントレポート

第11回 世界のともだちと心をつなごう

ユニセフのつどい
Unicef Festival

ひろげよう、みんなの笑顔。

2013年3月10日(土)
コープこうべ生活文化センター

参加団体 (順不同)

- ・NPO法人 アクセス
- ・国際居住研究会(ソルト学生支部)
- ・CHA(カンボジアNGO)
- ・NPO法人 ルワンダの教育を考える会
- ・ガーナ支援交流協会
- ・(公財)PHD協会
- ・伊藤ハム(株)
- ・Follow The Women
- ・西脇工業高等学校
- ・兵庫県子ども会連合会
- ・賀川記念館
- ・NPO法人ワタマプロジェクト
- ・子どもの夢実行委員会
- ・神戸常盤女子高等学校
- ・生活協同組合コープこうべ
- ・NPO法人 焔爽ジャパン
- ・関上あみず
- ・神戸大学附属中等教育学校住吉校舎コーラス部
- ・相馬高等学校

募金贈呈式参加団体



- ・伊藤ハム株式会社
- ・コープこうべ
- ・コープこうべ労働組合
- ・コープこうべ定時職員協議会
- ・神戸市立鷹取中学校

5 国際理解講座 世界とつながるために今できること

世界はまだまだ遠いのでしょうか？
自分にできることから、
国際理解を深め、世界とのつながりに気づき、
一緒に考えてみませんか？



兵庫県ユニセフ協会は、設立10周年を機に、多くの講師の方から学んだこと、2回のアフリカツアーで気付いたことなどを多くの人に伝えていきたいと思っています。
今年にはアフリカにフォーカスしています。報道だけでは伝わらない事柄もたくさんあります。自分にできる国際交流・国際協力を、ここで考えてみませんか。
この講座は、次の世代につなぐために兵庫県ユニセフ協会の大学生を中心としたグループ「ユニーズ」の視点を取り入れています。誰でもいつでも参加できる講座です。お気軽にお越しください。

講座予定

	開催日	内容(予定)	ゲストスピーカー
第1回	3月30日(土)	オレ流 アフリカとのつきあい	大津司郎さん(ジャーナリスト)
終了	14:30～16:30		
第2回	4月20日(土)	私が見たニジェール	矢部祥子さん(青年海外協力隊OG、兵庫県ユニセフ協会ボランティア)
終了	14:30～16:30		
第3回	5月25日(土)	ケニアのスラムに 学校をつくる	早川千晶さん(マゴソスクール運営)、 リアンさん(マゴソスクール運営)他
	14:30～16:30		
第4回	6月22日(土)	国際貢献について	菅野芳春さん(青年海外協力隊OB、 ガーナ支援交流協会)
	14:30～16:30		
第5回	9月未定(土)	未定	未定
第6回	10月未定(土)	未定	未定
第7回	11月未定(土)	学ぶ よろこび	カンベンガマリールイズさん(NPO法人ルワンダの教育を考える会理事長)

※この講座は、公益信託兵庫県婦人会館ユネスコ基金の助成を受けています。
※内容については変更する場合があります。会場、開催時間など詳細は兵庫県ユニセフ協会まで。(078-435-1605)

終了講座レポート

第1回 国際理解講座 オレ流 アフリカとのつきあい

日本が高度経済成長を遂げていた1970年代、アフリカのサハラは大旱ばつに見舞われていた。大津さんは、「アフリカで農業をしたい」と夢を抱き、船上の人に。初めてのアフリカである。1973年には仲間と「サハラ早ばつ救援委員会」を作り、スポンサーを探し、救援物資を調達し、アフリカへ届けた。
以後40年間、報道番組の取材、講師、ツアー

講師：ジャーナリスト 大津司郎さん
日時：3月30日(土)
会場：コープこうべ生活文化センター
参加者：34人

コンダクターなど、いろいろな形でアフリカと付き合い合ってきた大津さんは話す。
民族・文化・習慣などが違う人たちと話し、交渉する際には「自分は何か」「何をしたいのか」「あなたと私で何ができるのか」をきちんと伝えられるプレゼン力が重要である。アフリカは本音の社会。こちらの意図をきちんと伝え、コミュニケーションをとり、ネットワークを築ければ、そ

の国の上層部の人とも話ができるようになる。
資源を求めて多くの国が戦略的にアフリカへ進出している。そこへ送り出された人たちは人脈を築き情報を取得し、それぞれの夢実現のために働く。それらは母国にとっての次の戦略の一手につながる。残念ながら、そこには日本は存在しない。
ネットワーク時代の今、各国はしのぎを削って情報を集めている。エネルギーの9割を輸入に頼る日本。若者には夢を追いかけ外向き志向で日本の未来を担ってほしい。そして、私たちは、世界へ出る人をサポートしていく必要がある。

第2回 国際理解講座 私が見たニジェール

児童館に勤務していた矢部さんは、途上国の子どもたちの教育環境に関心を持ち、タイの孤児院やマレーシアの小学校などでボランティアも経験していた。そんな彼女が現職参加制度を利用して2005年から青年海外協力隊へ。「もう少し途上国の子どもと付き合いたい」という思いからだ。

講師：青年海外協力隊OG 矢部祥子さん
日時：4月20日(土)
会場：コープこうべ生活文化センター
参加者：31人

赴任先はアフリカのニジェール。そこには、過酷な環境に加え、国民の殆どに仕事がない状況、多くの外国人がウラン採掘のために出稼ぎにきている現状があった。
ニジェールで5、6番目に大きい町ドッソで、子どもを対象に遊び文化を提供する任務に就いた。仕事でも尽力された矢部さんだが、日常生活

2 チャリティ・ウォーク

日時 2月10日(日)
会場 ポートアイランド市民広場

穏やかな晴天のもと、神戸ラ
プラン チャリティ・ウォーク
が行われた。合言葉は「世界
の子どもたちのためにみんな
で歩こう!」。受付とチェック
ポイントさえクリアすれば、
電車やバスも利用できる気
軽なウォーク、約800人が布
引の滝と名歌の道をたどる
12kmコースと神戸空港発
の4kmコースで、ゴールの市
民広場を目指した。ゴール後
に1人100円のユニセフ募金
にも快く協力していただき、
大盛況のうちに終了した。



3 KOBE国際交流フェア2013 でユニセフ製品を頒布

日時 3月17日(日)
会場 スペースシアター
(ハーバーランドセンターB1F)



多くの外国人が住み、外国人コミュニティの活動も盛んな港町神戸で行われた「KOBE国際交流フェア」。会場には多くの国の言葉が飛び交い、ステージでは国際色豊かなパフォーマンスが披露され、ブースではお国柄あふれる食べ物や民芸品が販売された。そんな国際交流の輪が広がる中でのユニセフ製品の頒布。世界中の子どもたちが健やかに幸せに成長できるように、というユニセフの願いを心に刻む一日となった。

4 ボランティア入門講座I 「ほほえみききん」覚えてね!

日時 4月20日(土)
会場 コープこうべ生活文化センター

今回はユニセフ・ワンポイントレッスンを行いました。
ユニセフは世界の子どもたちの命と健康と未来を守るために、保健、保護、栄養、水と衛生、教育、緊急支援の分野で活動しています。



Activity File 活動ファイル

兵庫県ユニセフ協会の活動履歴
2013年1月～2013年4月

活動一覽

Activity List

学習会訪問活動一覽

月日	訪問先	対象	人数
2月 4日	尼崎市立小園小学校	6年	107
2月 21日	赤穂市立城西小学校	6年	89
3月 5日	神戸市立本山第二小学校	5、6年	30
4月18日	フォーラム・ココ(コープこうべ職員OG)	大人	13

地域活動一覽

地域の活動に参加し、主にユニセフ製品を頒布しました。ご協力ありがとうございました。

月日	イベント名
2月10日	2013ユニセフカップ 神戸バレンタイン・ラプラン&チャリティーウォーク
2月24日	西宮 コープファミリフェスタ
3月 9日	まつりin住吉
3月17日	神戸国際交流フェア
3月22日	コープ三木緑が丘
3月24日	ふれあいまつりin塚口
3月29日	第4地区サークル発表会
4月14日	2013ユニセフカップ 芦屋国際ファンラン

1 カレンダー募金

日時 2月1日(金)～2月10日(日)
会場 コープこうべ生活文化センターロビー、他

例年、東京の老舗文房具専門店「伊東屋」のご好意により提供いただいたカレンダーを、「カレンダー募金」として格安で販売している。今年も、アイデア満載のカレンダー、美しい絵柄の海外のカレンダーなど、日ごろ目にしないものも多く、孫が好きな絵だからと購入するおじいちゃん、手芸の材料に使うからとまとめて購入する方など、たくさんの方にご協力いただいた。おかげさまで好評のうちに完売。売上げの116,050円は、「シリア緊急募金」として日本ユニセフ協会へ送金した。

ユニセフ募金 *Donations For Unicef*

通常募金

通信欄記載事項	振替口座	手数料
K1-280兵庫	00190-5-31000	免除

緊急・復興募金

	通信欄記載事項	振替口座
アフリカ干ばつ	アフリカ干ばつ K1-280兵庫	00190-5-31000
シリア	シリア K1-280兵庫	00190-5-31000
ハイチ地震	ハイチ K1-280兵庫	00190-5-31000
自然災害	自然災害 K1-280兵庫	00190-5-31000
人道危機	人道危機 K1-280兵庫	00190-5-31000

*共通口座名義:公益財団法人 日本ユニセフ協会
*手数料免除

あなたもボランティア! *Volunteer*

ユニセフという言葉は知っているけれど、どんな活動をしているんだろう。世界の子どもたちのために、私のできることはなんだろう。「できる人ができることを できる時に」活動しています。お気軽にご連絡ください。

Wish ユニセフ兵庫ニュース vol.40 2013年5月号

ユニセフ兵庫ニュース Wish

2013年(平成25年)5月発行

発行: 兵庫県ユニセフ協会

住所: 〒658-0081

神戸市東灘区田中町5-3-18

コープこうべ生活文化センター4F

電話: 078-435-1605

FAX: 078-451-9830

(お問い合わせは平日の10:00~16:00)

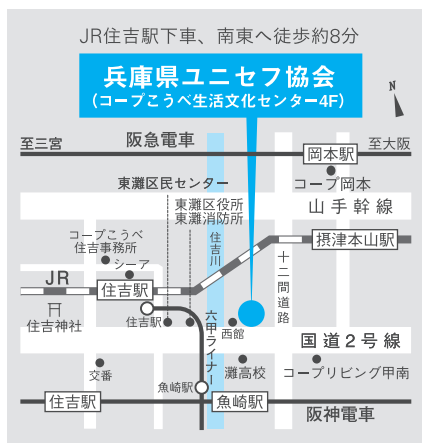
●最新の情報はホームページで

<http://www.office-bit.com/unicef-hyogo/>

兵庫県ユニセフ協会

検索

●兵庫県ユニセフ協会への案内図



Feature Event いちおし

公演「地球のステージ2」

世界の紛争地・大災害被災地、宮城県閉上で活動を続けている桑山紀彦さんが、心のケアを通して知った人々の「生きる力」を、歌と語りと映像でつづります。

日時 8月24日(土)13:30~16:00

会場 コープこうべ生活文化センター2階ホール

入場料 大人 前売1200円 当日 1500円

高校生以下 500円

主催 地球のステージ実行委員会

後援 兵庫県生活協同組合連合会、コープこうべ、コープこうべ労働組合、コープこうべ定時職員協議会

お問い合わせ先 「地球のステージ」実行委員会事務局 (078-435-1605)

*本公演は兵庫県国際交流協会の助成を受けています。



Join Us 主催イベント

ボランティア入門講座Ⅱ

テーマ: 水

日時: 6月22日(土) 14:00~

会場: コープこうべ生活文化センター

ユニセフ国際セミナーⅡ

テーマ: 子どもの人権から考える

~在住ブラジルの子どもたち~

日時: 8月3日(土) 10:00~16:00

会場: 海外移住と文化の交流センター

ユニセフパネル展「ユニセフによる戦後日本の子どもたちへの支援」

日時: 8月20日(火)~29日(木)

会場: コープこうべ生活文化センター1階ロビー

ユニセフ七夕セミナー

日時: 7月13日(土)13:00~

会場: 広島県民文化センター

近畿・中国・四国地方のユニセフ地域組織の合同研修交流会を行います。

お申し込み、お問い合わせ先

事務局 **078-435-1605**

NEWS お知らせ



ユニセフ出前学習会

学習会の講師派遣を行っています。お気軽にお問い合わせください。

カタログ「ユニセフ・カードとギフト春・夏号2013」が出ました。



シリア緊急募金にご協力!

シリア危機の勃発から2年。暴力の連鎖は、全ての年齢層の子どもの生活を脅かしています。みなさまのご支援をお待ちしています。お問い合わせは事務局まで。

ユニセフひょうごサポーター



賛助会員募集中!!

賛助会員となって、兵庫県ユニセフ協会の活動を支えてください。お申し込み、お問い合わせは事務局までお願いいたします。